

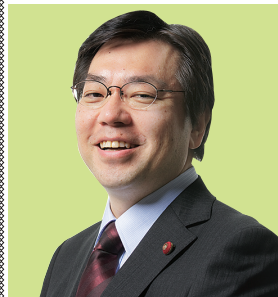
川崎市宮前区版 2018年6月15日掲載

市政報告

バナナンス不在？社会福祉事業団

～刑事告訴で天下りOBと市の「馴れあい」を断ち切れ～

みらい川崎市議会議員団 おだかつひさ



おだかつひさ

1961年幸区生まれ。駒場東邦高校、中央大学 法学部卒業（地方自治、都市政策専攻）国会議員秘書を経て、2003年市議会初当選、現在4期目。まちづくり委員会委員、原水爆禁止川崎市連絡会議事務局長。好きな言葉「知行合一」、有馬在住

Facebook Twitter おだかつひさ 検索

川崎区の障害児通所施設「南部地域療育センタ―」で、退職職員の名義を使用して市に7500万円の不正な公費請求を行っていた事件です。市は加算金も含め給付費約1億円の返還等を求め、長となってきました。障害児者、児童、高齢者施設など29施設を運営し、うち13施設の指定管理業務を行っています。毎年30

害者、児童、高齢者施設など29施設を運営し、うち13施設の指定管理業務を行っています。毎年30

害者、児童、高齢者施設など29施設を運営し、うち13施設の指定管理業務を行っています。毎年30

害者、児童、高齢者施設など29施設を運営し、うち13施設の指定管理業務を行っています。毎年30

害者、児童、高齢者施設など29施設を運営し、うち13施設の指定管理業務を行っています。毎年30

害者、児童、高齢者施設など29施設を運営し、うち13施設の指定管理業務を行っています。毎年30

害者、児童、高齢者施設など29施設を運営し、うち13施設の指定管理業務を行っています。毎年30

・市健康福祉局が不正を認識した日
平成30年1月17日
・社福理事長(元健康福祉局長)が認識した日
平成30年1月29日
・健康福祉局長(現理事長)が不正を認識した日
平成30年2月16日
・社福理事長(元健康福祉局長)が退職した日
平成30年3月31日
・健康福祉局長が社福の理事長に再就職した日
平成30年4月1日

億円の公費が支出され、純資産は92億円をこえる巨大「官製社会福祉法人」です。

◎悪質な「架空請求」

療育施設でサービス提供の基本となる「個別支援計画」に退職した「児童発達支援管理責任者」の記名(手書き)と押印が使用され、「有印私文書偽造」の疑いがあり。

さらに架空の「個別支援計画」で療育サービスが提供されたのですから、不正請求の公費ばかりか、架空提供された療育サービスを対象児童にどのように弁償するのか。療育機関の根幹に関わる深刻な事態。議会で厳しく追及しています。